



Hiroshima City University Language Center

広島市立大学語学センター

Newsletter No.63 (2019.12.27)



特集 語学センターリニューアル！

新語学センター長就任と教室機器更新

今年度に入り、国際学部李在鎬教授が新たに語学センター長に就任されました。外国語教育ご担当以外の先生からは初のご就任です。

また、今年度夏季休暇中には、第一期機器更新が実施されました。語学センターでは5年ごとに機器更新をしていて、第一期でフロアの半分、第二期で残り半分がリニューアルされています。

この「語学センターリニューアル！」特集号では、李在鎬新語学センター長からのご挨拶に続き、第一期機器更新箇所のご紹介をいたします。

目次：

特集 語学センターリニューアル！	
「身近で魅力ある学習の場」	
語学センター長・国際学部教授 李在鎬・・・1	
2019年度 語学センター第一期機器更新・・・2	
ランゲージチューターを活用しよう！	
「私がドイツ（ハノーバー）に	
長期留学するまでの道のり・それから」	
国際学部 豊田実希さん・・・4	
2019年度 短期語学留学実施報告・・・5	
前期 いちだい知のトライアスロン映画上映会・・・6	
夏季休暇 課外プログラムを実施・・・6	

身近で魅力ある学習の場

語学センター長・国際学部教授 李 在鎬

語学センターは今年で開設25年目を迎えました。このような記念すべき年に、語学センター長職を仰せ付かったことを光栄に思います。当初、全学より私のような国際経営論専門の教員に語学センター長就任の声がかかったことは、異例の人事と映っていたのですが、前任の渡辺智恵先生（現副学長）から「新鮮な目で語学センターの事業を見直してほしい」と背中を押していただき、本職を引き受けることとなりました。それ以来、語学センター長の職務を遂行するにあたり、「利用者の視点」、「経営学的な観点」を心掛けております。

利用者の方々には、授業、短期語学留学、課外学習の3つのステージにおいて、語学センターの施設とプログラムをフルに活用していただきたいと考えております。第一に、授業及び外国語学習の支援として、語学センターはE-Learningを利用した英語授業、TOEICテストの実施、外国語学習教材の整備を行っております。第二に、短期語学留学事業の支援として、アメリカのハワイ大学、フランスのオルレアン大学、中国の西南大学、ロシアのモスクワ国立大学、韓国の慶北国立大学（2019年度新設）に学生を派遣しております。第三に、課外での外国語学習機会を提供しております。夏季休暇中の課外プログラムに加え、2017年よりランゲージチューター制度を導入しております。

一方で、経営学的な観点からは「利用価値/購入価値」を最大化できる施設運営が求められます。いくらお金をかけ立派な設備や制度を設けたところで、利用実績が少なければ、効率的な予算執行とは言えません。現在のところ、語学センターの自習室利用件数が年間約34,000件に上っており、また



◆語学センターランゲージラウンジにて
(カウンターの向こうは、ランゲージチューターで外国語レッスン中の学生)

2018年度におけるランゲージチューター制度の利用時間が541時間に達しているなど、利用者に支持されている事業に予算が適切に配分されていると見受けられますが、今後も利用実績を重視する姿勢を堅持していきたいと思っております。

最後になりますが、語学センターは常に魅力ある学習の場でありつづけるため、定期的に機器更新を行ってきました。具体的には、施設を半分ずつ2つに分け、1年ずらして、それぞれ5年ごとに実施しています。ちょうど2019年度、2020年度は、機器更新の時期にあたります。2019年度の機器更新の特徴は、404教室を2室としても使えるフリーレイアウト教室に変更したり、また405スタジオ編集室をグループ学習室として利用できるように改修したりするなど、施設の柔軟性を高めている点にあります。2020年度には、ランゲージラウンジを中心とした機器更新に向け、協議を進めているところです。是非新しくなった語学センターに足を運んでください。

2019 年度 語学センター第一期機器更新

少人数・グループ学習対応教室が増え、更新にメリハリ

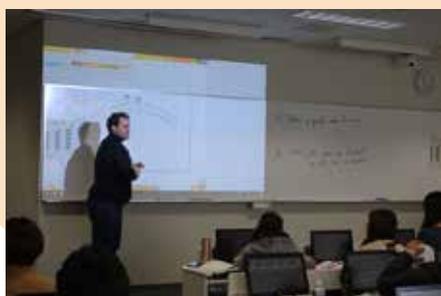
今年度の機器更新では外国語授業での教室利用に加え、三学部合同ゼミなど新たに発生した学内のニーズにも、よりフレキシブルに対応できる施設を目指し、少人数で使用できる教室やグループ学習用にもレイアウトしやすいワイヤレス教室が増えました。

更新前から安定的に使用されている機能を維持した教室と大きく変更をした教室とがあり、教室によって更新のメリハリがついたのも今回の更新の特徴です。また、パソコンの OS を Windows 7 から Windows 10 に、Microsoft Office を 2013 から 2019 にアップグレードしています。

■ 403A・403B 教室 対面型固定レイアウト CALL 教室 ペア練習・リスニング訓練や多人数への個別指導が可能

各教室 67 席（内、車椅子対応ブース1） プリンター 2 台

主な機能：2 教室同時授業、教室録画（403A）、通訳訓練（403B）



【403A 教室】フランス語授業

フランス語授業ではデジタル教科書を使用するので、敢えてホワイトボードに投影し、マーカーで記入。今年度からフランス語を担当しているフランク・クラヴィエ先生（非常勤講師）は、昨年度、協定大学であるフランス・レンヌ第2大学から教育実習生として来学し、ランゲージチューターでも 11 名もの市大生にフランス語のレッスンをしました。

【403B 教室】通訳技法論授業

通訳訓練ブースがある 403B 教室では、教室機能を利用し、実践的な通訳訓練が行われています。

403 A・403 B 教室は、レイアウト、デザイン、機能面での大幅な変更がなく、前回 2014 年度更新時からの安定した教室環境を引き継いでいます。

固定レイアウト、インターネット有線 LAN 接続 + デスクトップパソコン環境により、音声を利用する CALL 教室ならではのリスニング訓練や 2～5 名のグループでの会話練習、画面を共有しての共同作業など、多彩な機能の利用が可能です。また、プロジェクタ用のスクリーンも維持しており、他教室より大画面で映像投影ができるので、映画の上映などに適しています。



多人数収容の対面型固定レイアウト教室であっても、各学生やグループをモニターしながら、必要に応じて任意の学生画面をリモートコントロールするなど、個別に丁寧な指導ができる、CALL 教室ならではの環境を維持しています。

教室録画では、学生側 + 教師側 + プレゼンテーション画面を同時収録します。

【新教室説明会を開催しました】

2019 年 9 月 30 日（月）13:00～14:30、語学センター新 404 教室で、新教室説明会を開催しました。本学教職員と語学センター教室を使用されている非常勤の先生方、計 17 名が出席されました。

李在鎬語学センター長からの語学センター第一期機器更新の概要説明の後、担当者から今回の機器更新で大きく変更された新 404 教室の操作説明がデモンストレーションを交えながら行われました。

説明後には、会場に隣接する新設のグループ学習室 1 を開始点として機器更新箇所を回るツアーがあり、質問に語学センタースタッフが回答しました。

当日、資料として配布した語学センター各教室の機能一覧表は、右の QR コードから参照できます。教室のご予約は施設予約システムからできますが、保守点検や調整が入ることがありますので、併せて語学センター事務室にもメールまたはお電話でご連絡ください。



新 404 教室のスライディングウォールを動かしてセットすると、教室を 404 A 教室、404 B 教室の 2 つに分割して使用できます。



語学センター学生 PC デスクトップでのアイコン表示。

【学生 PC が仮想環境 + Windows 10 に。情報処理センターとの違いに注意!!】

今回の機器更新で、語学センターパソコンの OS が Windows 10 に、また、Microsoft Office が 2019 にアップグレードされました。

また、語学センター内の全学生パソコンが仮想デスクトップになりましたが、情報処理センターの仮想デスクトップとは別環境のため、情報処理センターパソコンや図書館パソコンのデスクトップに保存したファイルを語学センターで使用することはできません。ファイルを語学センターでも使用する場合は、個人フォルダ (F:) に保存するか、USB、クラウドストレージなどに保存してください。

404A・404B 教室 フリーレイアウト ワイヤレス CALL 教室 80 席の教室を可動ウォールで2つの小教室に分割できる

[非分割時] 80 席 (分割時: 404A 48 席、404B 32 席) プリンター 404A、404B 各 1 台
主な機能: 2 教室分割

機器更新前、デスクが固定された島型レイアウトだった 404 教室は、408 教室と同様の、可動のデスク付チェア+ノートパソコン+ワイヤレスネットワークで、フリーレイアウト教室へと刷新されました。

また、教室の中ほどに新設されたスライディングウォール(2ページ下、枠内写真参照)を開閉することにより、80席の多人数教室を、48席と32席の2教室に分割し、それぞれで授業をすることができるようになりました。1 教室時は連動モード、分割した 2 教室時には単独モードでシステムを起動します。

学生がパソコンを使用する授業では、各自がノートパソコンを収納ワゴンから取り出して使用します。英語聴解法の授業ではマイク付ヘッドホンを接続して、音声教材用ソフトレコーダーを使ったシャドーイングも行われています。



【分割時: 404B 教室】イギリスの文学と文化授業

少人数授業用のこじんまりとしたサイズ感。可動ウォールは防音仕様だが、教室分割時には、マイクを使用しないで授業を行う。



TOEIC 団体受験の実施時などに使用できる単独のデスクもデスク付チェアと同数あります。広いデスクを併用すると、パソコンとテキストの両方を置くことができます。可動で高さが調節できる演台も 404 A・404 B 教室に各 1 台ずつあります。



【非分割時: 404A・404B 教室】
Cross-Cultural Language and Communication 授業

変更前の島型・固定レイアウト(写真右)が、フリーレイアウト(写真左)に変更され、学生の自由な移動が可能に。

グループ学習室 1・2、共同研究室 ゼミ室型固定レイアウト スタジオ・編集室を新しいグループ学習室に改修

[グループ学習室 1・グループ学習室 2] 12 席 [共同研究室] 16 席
主な機能: プレゼンテーション、録音・編集機能(グループ学習室 1 のみ)

機器更新前、スタジオ・編集室だった 405 の部屋を、少人数演習に適したグループ学習室 1 へと改修しました。各部屋のノートパソコンは学生・教師兼用で、付属のボタンを押すだけでホワイトボードに画面投影できる、更新前からのシンプルな操作感をそのまま維持しています。各部屋とも 2 台のプロジェクタがあり、任意の 2 画面の投影が可能で、DVD など視聴覚教材を使用する少人数の外国語授業にも対応しています。



【グループ学習室 1】
録音ブースと編集卓

録音・編集作業はこれまでどおり、405 (グループ学習室 1) で行うことができます。



【405/ グループ学習室 1】国際学部専門演習

元スタジオ・編集室が快適な新グループ学習室に。録音ブースは同室内に維持されている。



【406/ グループ学習室 2】国際学部専門演習

機器更新前からある、教材配布に便利なデスクもそのまま。使い易い環境を維持。



【407/ 共同研究室】国際学部基礎演習

席数が 12 席から 16 席に増え、少しの席不足で使用できなかったゼミも使用が可能に。

ランゲージチューターを活用しよう！

ランゲージチューター（ランちゅう）は2017年度から運用が開始され、昨年度より本格稼働しました。この制度は、授業外での外国語学習を支援することを目的として、日本語を母語とする学生が日本語を、日本語以外の外国語を母語とする学生（主に留学生）が外国語を教え合うものです。授業や課外で学んでいる外国語の実践的な会話能力を高めたり、留学出発前の集中的な外国語訓練の場として、また留学後に外国語での会話能力を落とさないための継続学習の場として利用されています。今年度は12月25日現在、日本語27名、外国語（中国語、英語、フランス語、ドイツ語、ハンガール、ベトナム語）50名のチューター登録があります。



ランゲージチューターを積極的に利用し、2018年9月より半年間、ハノーバー専科大学へ留学した国際学部 豊田実希さんに、ドイツ語学習の取組みについてメッセージを寄せていただきました。

私がドイツ（ハノーバー）に長期留学するまでの道のり・それから

国際学部4年 豊田実希

私がドイツ語を勉強し始めたのは大学入学してからです。一年生の時は新しく触れる言語の難しさからか、ただドイツ語の期末テストや小テストのために勉強しているという感じでした。

しかし、二年生になってドイツ語の授業の先生がヴェール先生になり、ドイツ文化について教科書に載っていないこともたくさん知り始めました。それから私は実際にドイツ文化を感じたい、もっとドイツ語を自分のものにしたい、と思い二年生の夏休みに一か月の短期留学をしました。しかし、やはり一か月では自分が満足できるほどのドイツ語向上はできませんでした。そこで長期で留学しようと思いました。



ランゲージチューター 留学生のドミニクさんと文法学習中の様子（右：豊田さん）

二年生の後期から本格的にハノーバー専科大学との交換留学の準備が始まりました。



ハノーバーのクリスマスマーケット

毎日ドイツ語に触れ、渡航してから困らないだけのドイツ語を身につけようとしていました。しかし、教科書のドイツ語読む、CDでドイツ語を聞く、だけでは実際にドイツに渡航してからうまく使えない、ということを経験していました。そんな時に私はランゲージチューターの存在を知り、ドイツ人の留学生と会話練習をし始めました。始めた当初、頭の中にドイツ語の文法や単語など知識はいくらあっても実際に会話練習すると、なかなか言葉出てこなくて困ってしまうことが多くありました。しかし毎週ランゲージチューターで会話練習をしていたおかげで、拙いドイツ語ながらも、ドイツ語で会話することに慣れていきました。

おかげでドイツへ渡航してからも、何か街中などで困ったときにも積極的にドイツ語で質問しに行くことができました。留学中もドイツ語力を向上していった、帰国前には市役所での手続きも何も困ることなくドイツ語でできるほどになりました。

ドイツ語力の向上には留学したことはもちろんですが、ランゲージチューターをしたことも私にとっては大きな手助けとなりました。ドイツ語に限らずですが、新しく言語を身につけようと思ったら使っていけないと身にならないと私は思います。そんな時にランゲージチューターを活用することはとても語学力向上に役立つと思います。ただ教科書や単語帳などをみて勉強してみるよりも、語学力が身につくと思います。各々、自分の学習している言語を実際に使える環境が市立大学にはあるので、ぜひ皆さんにもランゲージチューターを利用してほしいと思います。



留学中にできた友達とドイツ旅行中

2019 年度 短期語学留学 実施報告

夏季休暇中に短期語学留学が実施されました。短期語学留学は、受入大学での語学集中講義のほか、歴史・文化研修などからなるプログラムを実施しています。2019 年度より「慶北大学校（韓国）」のプログラムが新たに加わり、4 大学合計 44 名が参加しました。（モスクワ大学は隔年実施のため、2020 年度実施予定です。）

韓国

慶北国立大学校

実施期間	： 2019 年 8 月 11 日～8 月 24 日
参加人数	： 6 名【学部】国際 4 名、情報 2 名 【学年】3 年 2 名、2 年 4 名
滞在方法	： 慶北国立大学校学生寮
単位認定	： 国際交流演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳのうち 1 単位
担当教員	： 特任教授・国際交流推進センター長 松本 良徳
参加費用	： 約 14 万円
助成金	： 大学助成金あり

■プログラム概要

慶北国立大学校主催「グローバルサマースクール」の 12 日間のプログラムに参加します。韓国語講座や特別授業及び文化体験を通して、韓国への理解を深めます。現地の学生がバディとなり一緒に行動するため、国際交流はもちろん実践的な韓国語を習得することができるプログラムです。



フランス

オルレアン大学

実施期間	： 2019 年 8 月 23 日～9 月 23 日
参加人数	： 11 名【学部】国際 11 名 【学年】3 年 1 名、2 年 10 名
滞在方法	： ホームステイ
単位認定	： (国際) 海外短期語学留学 (オルレアン) の 4 単位 (情報・芸術) 国際交流演習Ⅰ、Ⅲ、Ⅳの 4 単位
担当教員	： 国際学部准教授 大場 静枝
参加費用	： 約 40 万円
助成金	： 大学助成金、JASSO 海外留学奨学金あり

■プログラム概要

オルレアン大学の付属機関「フランス語学院」で、フランス語・フランス語文化に関する集中講義を 4 週間にわたって受講します。演劇のワークショップもプログラムに組み入れられており、修了式で発表します。フィールドスタディ・ツアー



では、モンサンミッシェルやロワール川流域の古城を訪れます。フランス人家庭でのホームステイを通して、生きたフランス語に接し異文化を体験することができます。

*引率教員：(前半) 国際学部 大場静枝准教授
(後半) 国際学部 湯浅正恵教授

アメリカ

ハワイ大学マノア校

実施期間	： 2019 年 9 月 1 日～9 月 15 日
参加人数	： 15 名【学部】国際 8 名、情報 6 名、芸術 1 名 【学年】2 年 5 名、1 年 10 名
滞在方法	： ホームステイ
単位認定	： (国際) 海外短期語学留学 (ハワイ) の 2 単位 (情報・芸術) 国際交流演習Ⅰ、Ⅲ、Ⅳのうち 2 単位
担当教員	： 国際学部教授 井上 泰浩
参加費用	： 約 39 万円
助成金	： 大学助成金あり

■プログラム概要

ハワイ大学マノア校にて、実践的な英語の運用能力を高める集中授業を受けます。ハワイ大学の実際の授業に参加して学生と話し合いをしたり、現地の高校を訪問したり交流を深めます。フィールドスタディでは、博物館や真珠湾攻撃の地で研修を行い、ハワイの文化と歴史を学びます。ホームステイ先で、毎日生きた英語に触れることができるので、実践的な英語を習得できます。



中国

西南大学

実施期間	： 2019 年 9 月 8 日～9 月 21 日
参加人数	： 12 名【学部】国際 10 名、情報 1 名、芸術 1 名 【学年】2 年 7 名、1 年 5 名
滞在方法	： 西南大学学生寮
単位認定	： (国際) 海外短期語学留学 (ハワイ) の 2 単位 (情報・芸術) 国際交流演習Ⅰ、Ⅲ、Ⅳのうち 2 単位
担当教員	： 国際学部講師 藤原 優美
参加費用	： 約 10 万円
助成金	： 大学助成金あり

■プログラム概要

西南大学の付属機関「国際学院」で、中国語の習得を目的とした集中授業を受けます。書道や中国伝統音楽など中国文化を学ぶ授業もプログラムの中に取り入れられていますので、中国への理解を深めることができます。滞在中は日本語学科の学生がバディとなって生活面をサポート



してくれたり、食事や観光に行ったり行動を共にしてくれることも、このプログラムの特徴です。国際学生寮では、世界各国からの留学生と交流でき、視野が広がるきっかけにもなります。



2019 年度前期 いちだい知のトライアスロン映画上映会開催



テーマ ささまざまな視点からみる<アメリカ>

6月17日(月)～6月21日(金)に、語学センターにて、いちだい知のトライアスロン映画上映会を開催しました。国際学部専門科目「多文化共生入門」との連携企画で行いました。国際学部の田浪亜央江先生に映画の推薦と解説をしていただき、7本の作品を日替わりで上映しました。

毎年6月と12月に上映会をしています。掲示等でご案内いたしますので、ぜひご参加ください。

テーマ : ささまざまな視点からみる<アメリカ>

上映映画 : 「ボウリング・フォー・コロンバイン」「ソーシャル・ネットワーク」
「ニューヨーク、ジャクソンハイツへようこそ」
「プレシヤス」「扉をたたく人」「マイネーム・イズ・ハーン」

*番外編 : 「愛より強く」 (国際学部講義「多文化共生入門」で使用)

※12月に実施した後期の映画上映会の開催報告は、次号に掲載いたします。



■ 夏季休暇「新」課外プログラムを実施しました

夏季休暇期間中に、3つの課外プログラムを実施しました。

毎年実施している「夏休み課外インテンシブ英語学習プログラム」は、「CALL英語集中」「eラーニング英語」と同等内容の一般プログラムの他に、リスニング、リーディング、文法に特化したプログラムと文法の基礎固めのプログラムが新たに加わり、受講者が自分のニーズに合わせてコースを選ぶことができるようになりました。TOEFL受験予定者等を対象とする「TOEFL Online Prep Course」も初めて実施されました。

「夏休み課外インテンシブ英語学習プログラム」の内容が充実したこともあり、大変多くの意欲的な学生の皆さんが受講しました。来年度もどうぞご期待ください。

	夏休み課外インテンシブ英語学習プログラム					TOEFL Online Prep Course	アプリを利用した 英語の発音・発話トレーニング
内容	「CALL英語集中」「eラーニング英語」と同等内容の他に、リスニング、リーディング、文法に特化したプログラムがあり、それらを1ヶ月で受講する。					オンライン自主学習用のTOEFLテスト対策教材で、4技能のスキルを強化する。 (TOEFL受験予定者等対象)	反復練習で「発音・発話」を強化できるアプリで、スピーキングのトレーニングを行う。
募集期間	7月15日(月)～8月15日(木)					7月30日(火)～8月15日(木)	7月30日(火)～8月23日(金)
実施期間	9月1日(日)～9月30日(月)					9月1日(日)～2月29日(土)	9月1日(日)～9月30日(月)
受講人数	一般プログラム	リスニング特化型	リーディング特化型	文法特化型	文法基礎	4名	12名
	67名	47名	18名	25名	11名		

■ 視察・オープンキャンパス等報告

4月24日	ハサヌディン大学【インドネシア】(5名)	7月11日	広島市立広島中等教育学校 (116名)
6月6日	進路指導委員対象大学説明会 (13名)	8月4日	オープンキャンパス (181名)
6月7日	岐阜市立岐北中学校 (42名)	10月2日	北広島町立豊平中学校 (13名)
6月16日	プレオープンキャンパス (52名)	10月14日	ライブキャンパス (83名)
7月2日	広島県立福山葦陽高等学校 (20名)	10月15日	呉市立呉高等学校 (42名)
7月10日	台北科技大学【台湾】(14名)	11月8日	広島市立大塚中学校 (2名)
7月11日	安西高等学校 (12名)	11月28日	シラパコーン大学【タイ】(教員1名)
		12月25日	広島市 小池副市長

発行日	2019年12月27日	Phone	(082)830-1509
発行	広島市立大学語学センター 〒731-3194 広島市安佐南区大塚東3-4-1	Fax	(082)830-1794
編集	堀本真由美、沖野佳代 (内線:6410)	E-mail	lang@m.hiroshima-cu.ac.jp
		ホームページ	https://call.lang.hiroshima-cu.ac.jp/lang/index.html